

事業番号	14 05 01	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教育課題対応支援事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト				課・室	教学指導課
	施策の総合的展開				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
					実施期間	

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 教育現場での様々な課題に対応するため、研修会等を今後も継続することにより、教職員の指導力が高まる。 幼児児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされ、豊かな人間性・社会性が育まれる。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題への対応の多様化が求められており、各種教育の推進のために、次の研修や事業等を実施している。 環境教育指導力向上に向けた研修 外国籍児童生徒の指導に携わる教員等を対象にした研修 学校環境美化や豊かな情操教育のための事業 幼児教育の振興を図る事業 教科用図書の採択の適正な実施にかかる事業 	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 義務教育諸学校教科用図書無償法第6条、第11条 教育公務員特例法附則第4条

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> 校内で諸課題について学び合う研修会を実施している小中学校の割合を、H29年度目標の75%に向け、H24年度は68%以上にする。 幼児と児童が交流している小学校の割合を、H29年度目標の100%に向け、H24年度は93%以上にする。 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績		
				H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
		教科用図書研究調査費	直接	・教科用図書選定審議会の設置 ・教科用図書の研究調査、教科書展示会の開催	367	340
	環境教育推進事業	直接	・文部科学省主催の環境学習フェアへの教職員の派遣	180	114	175
	外国籍等児童生徒指導研修事業	直接	・外国籍等児童生徒指導研修会(4地区×2回)	152	40	144
	教育研究団体助成事業	負担金	・フラワー・ブラボー・コンクール(FBC)負担金	768	750	750
	幼児教育振興事業	直接	・幼児教育連絡会議(2回) ・幼稚園新規採用教員研修(4回)	235	95	255
			合計	1,702	1,339	1,691

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	3,059	3,005	1,702	1,691			目標	成果	達成状況	
		補正予算	0	0	0		研修会実施の学校の割合	67.5%	68.0%	68.8%	達成	70.0%
		合計(A)	3,059	3,005	1,702	1,691	幼児と児童生徒が交流会を実施している小学校の割合	92.2%	93.0%	93.9%	達成	95.0%
	Aの財源	国庫支出金	0	0	0	0						
		県債	0	0	0	0						
		その他()	0	0	0	0						
		一般財源	3,059	3,005	1,702	1,691						
		決算額(B)	2,074	1,765	1,339							
概算人件費		職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00						
	概算人件費(C)	8,317	8,258	8,258	8,258							
	概算事業費(B(A)+C)	10,391	10,023	9,597	9,949							

目標に対する成果の状況	環境教育指導力向上に向けた研修、外国籍児童生徒の指導に携わる教員等を対象にした研修、学校環境美化や豊かな情操教育のための事業を実施してきた。各種教育を推進するにあたって、教職員の力量を高めるために、各校において諸課題について学び合う研修会等を実施している。教科用図書の採択の適正な実施にかかる事業については、法令に基づき審議会等を進めてきている。幼児教育の振興を図る事業については、幼保小の連携を大切に、交流の機会等を設定してきた。その結果、研修会実施の学校の割合、幼児と児童生徒が交流会を実施している小学校の割合が、それぞれ大きくなっている。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 教育現場での様々な課題に対応するため、研修会等を今後も継続することにより、教職員の指導力が高まるようにしていく。また、幼児、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされ、豊かな人間性・社会性が育まれるよう工夫して事業を進めていく。
---------------------	--